

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年5月10日(2007.5.10)

【公開番号】特開2001-285650(P2001-285650A)

【公開日】平成13年10月12日(2001.10.12)

【出願番号】特願2000-102131(P2000-102131)

【国際特許分類】

| | | |
|--------|-------|-----------|
| H 04 N | 1/419 | (2006.01) |
| H 03 M | 7/40 | (2006.01) |
| H 04 N | 1/387 | (2006.01) |
| H 04 N | 7/26 | (2006.01) |

【F I】

| | | |
|--------|-------|---|
| H 04 N | 1/419 | |
| H 03 M | 7/40 | |
| H 04 N | 1/387 | |
| H 04 N | 7/13 | Z |

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月15日(2007.3.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 第1のデータを、第2のデータに変換するときに用いる、前記第1および第2のデータを対応付けた変換テーブルを作成するデータ処理装置であって、

前記第1のデータのうちの所定の値のデータを基準データとして、前記第1のデータのうちの、前記基準データに対して所定の位置関係にあるものの度数分布を、前記基準データの値ごとに生成する度数分布生成手段と、

前記基準データの値ごとの前記第1のデータの度数分布に基づいて、前記基準データの値ごとに、前記変換テーブルを生成するテーブル生成手段と
を備えることを特徴とするデータ処理装置。

【請求項2】 前記度数分布生成手段は、前記基準データに対して、時間的または空間的に近い位置にある前記第1のデータの度数分布を生成する
ことを特徴とする請求項1に記載のデータ処理装置。

【請求項3】 前記度数分布生成手段は、前記基準データに対して、時間的または空間的に隣接する前記第1のデータの度数分布を生成する
ことを特徴とする請求項2に記載のデータ処理装置。

【請求項4】 前記テーブル生成手段は、前記基準データに対して度数分布が求められた各値の前記第1のデータに対して、その度数の昇順または降順に、前記第2のデータを割り当てるにより、前記基準データの値ごとの前記変換テーブルを生成する
ことを特徴とする請求項1に記載のデータ処理装置。

【請求項5】 前記第1のデータは、画像を構成する画素値である
ことを特徴とする請求項1に記載のデータ処理装置。

【請求項6】 第1のデータを、第2のデータに変換するときに用いる、前記第1および第2のデータを対応付けた変換テーブルを作成するデータ処理方法であって、
前記第1のデータのうちの所定の値のデータを基準データとして、前記第1のデータのうちの、前記基準データに対して所定の位置関係にあるものの度数分布を、前記基準デー

タの値ごとに生成する度数分布生成ステップと、

前記基準データの値ごとの前記第1のデータの度数分布に基づいて、前記基準データの値ごとに、前記変換テーブルを生成するテーブル生成ステップと
を備えることを特徴とするデータ処理方法。

【請求項7】 第1のデータを、第2のデータに変換するときに用いる、前記第1および第2のデータを対応付けた変換テーブルを作成するデータ処理を、コンピュータに行わせるプログラムが記録されている記録媒体であって、
前記第1のデータのうちの所定の値のデータを基準データとして、前記第1のデータのうちの、前記基準データに対して所定の位置関係にあるものの度数分布を、前記基準データの値ごとに生成する度数分布生成ステップと、

前記基準データの値ごとの前記第1のデータの度数分布に基づいて、前記基準データの値ごとに、前記変換テーブルを生成するテーブル生成ステップと
を備えるプログラムが記録されている
ことを特徴とする記録媒体。

【請求項8】 第1のデータを、第2のデータに変換するデータ処理装置であって、
前記第1のデータを選択するとともに、その選択された第1のデータに対して所定の位置関係にある他の前記第1のデータを、基準データとして選択する選択手段と、

前記基準データの値ごとに生成され、前記第1および第2のデータが対応付けられた変換テーブルに基づいて、前記第1のデータを、前記第2のデータに変換する変換手段と
を備えることを特徴とするデータ処理装置。

【請求項9】 前記変換テーブルは、前記第1のデータのうちの所定の値のデータを前記基準データとして、前記第1のデータのうちの、前記基準データに対して所定の位置関係にあるものの度数分布を、前記基準データの値ごとに生成し、その、前記基準データの値ごとの前記第1のデータの度数分布に基づいて、前記基準データの値ごとに生成されたものである
ことを特徴とする請求項8に記載のデータ処理装置。

【請求項10】 前記変換テーブルは、前記第1のデータのうちの所定の値のデータを前記基準データとして、前記第1のデータのうちの、前記基準データに対して時間的または空間的に近い位置にあるものの度数分布を、前記基準データの値ごとに生成し、その、前記基準データの値ごとの前記第1のデータの度数分布に基づいて、前記基準データの値ごとに生成されたものである
ことを特徴とする請求項9に記載のデータ処理装置。

【請求項11】 前記変換テーブルは、前記第1のデータのうちの所定の値のデータを前記基準データとして、前記第1のデータのうちの、前記基準データに対して時間的または空間的に隣接するものの度数分布を、前記基準データの値ごとに生成し、その、前記基準データの値ごとの前記第1のデータの度数分布に基づいて、前記基準データの値ごとに生成されたものである
ことを特徴とする請求項10に記載のデータ処理装置。

【請求項12】 前記変換テーブルは、前記基準データに対して度数分布が求められた各値の前記第1のデータに対して、その度数の昇順または降順に、前記第2のデータを割り当てることにより、前記基準データの値ごとに生成されたものである
ことを特徴とする請求項9に記載のデータ処理装置。

【請求項13】 前記第1のデータは、画像を構成する画素値である
ことを特徴とする請求項8に記載のデータ処理装置。

【請求項14】 前記基準データの値ごとの前記変換テーブルを記憶する記憶手段をさらに備える
ことを特徴とする請求項8に記載のデータ処理装置。

【請求項15】 前記基準データの値ごとの前記変換テーブルを生成する生成手段をさらに備える
ことを特徴とする請求項8に記載のデータ処理装置。

【請求項 16】 前記第1のデータを変換して得られる前記第2のデータを圧縮する圧縮手段をさらに備える

ことを特徴とする請求項8に記載のデータ処理装置。

【請求項 17】 第1のデータを、第2のデータに変換するデータ処理方法であって、

、前記第1のデータを選択するとともに、その選択された第1のデータに対して所定の位置関係にある他の前記第1のデータを、基準データとして選択する選択ステップと、

前記基準データの値ごとに生成され、前記第1および第2のデータが対応付けられた変換テーブルに基づいて、前記第1のデータを、前記第2のデータに変換する変換ステップと

を備えることを特徴とするデータ処理方法。

【請求項 18】 第1のデータを、第2のデータに変換するデータ処理を、コンピュータに行わせるプログラムが記録されている記録媒体であって、

前記第1のデータを選択するとともに、その選択された第1のデータに対して所定の位置関係にある他の前記第1のデータを、基準データとして選択する選択ステップと、

前記基準データの値ごとに生成され、前記第1および第2のデータが対応付けられた変換テーブルに基づいて、前記第1のデータを、前記第2のデータに変換する変換ステップと

を備えるプログラムが記録されている

ことを特徴とする記録媒体。

【請求項 19】 第1のデータを変換して得られる第2のデータを、元の第1のデータに逆変換するデータ処理装置であって、

前記第2のデータを選択するとともに、その選択された第2のデータに対して所定の位置関係にある、既に逆変換された前記第1のデータを、基準データとして選択する選択手段と、

前記基準データの値ごとに生成され、前記第1および第2のデータが対応付けられた変換テーブルに基づいて、前記第2のデータを、前記第1のデータに逆変換する逆変換手段と

を備えることを特徴とするデータ処理装置。

【請求項 20】 前記変換テーブルは、前記第1のデータのうちの所定の値のデータを前記基準データとして、前記第1のデータのうちの、前記基準データに対して所定の位置関係にあるものの度数分布を、前記基準データの値ごとに生成し、その、前記基準データの値ごとの前記第1のデータの度数分布に基づいて、前記基準データの値ごとに生成されたものである

ことを特徴とする請求項19に記載のデータ処理装置。

【請求項 21】 前記変換テーブルは、前記第1のデータのうちの所定の値のデータを前記基準データとして、前記第1のデータのうちの、前記基準データに対して時間的または空間的に近い位置にあるものの度数分布を、前記基準データの値ごとに生成し、その、前記基準データの値ごとの前記第1のデータの度数分布に基づいて、前記基準データの値ごとに生成されたものである

ことを特徴とする請求項20に記載のデータ処理装置。

【請求項 22】 前記変換テーブルは、前記第1のデータのうちの所定の値のデータを前記基準データとして、前記第1のデータのうちの、前記基準データに対して時間的または空間的に隣接するものの度数分布を、前記基準データの値ごとに生成し、その、前記基準データの値ごとの前記第1のデータの度数分布に基づいて、前記基準データの値ごとに生成されたものである

ことを特徴とする請求項21に記載のデータ処理装置。

【請求項 23】 前記変換テーブルは、前記基準データに対して度数分布が求められた各値の前記第1のデータに対して、その度数の昇順または降順に、前記第2のデータを割り当てることにより、前記基準データの値ごとに生成されたものである

ことを特徴とする請求項 20 に記載のデータ処理装置。

【請求項 24】 前記第1のデータは、画像を構成する画素値である

ことを特徴とする請求項 19 に記載のデータ処理装置。

【請求項 25】 前記基準データの値ごとの前記変換テーブルを記憶する記憶手段をさらに備える

ことを特徴とする請求項 19 に記載のデータ処理装置。

【請求項 26】 前記基準データの値ごとの前記変換テーブルを取得する取得手段をさらに備える

ことを特徴とする請求項 19 に記載のデータ処理装置。

【請求項 27】 圧縮された前記第2のデータを伸張する伸張手段をさらに備える

ことを特徴とする請求項 19 に記載のデータ処理装置。

【請求項 28】 第1のデータを変換して得られる第2のデータを、元の第1のデータに逆変換するデータ処理方法であって、

前記第2のデータを選択するとともに、その選択された第2のデータに対して所定の位置関係にある、既に逆変換された前記第1のデータを、基準データとして選択する選択ステップと、

前記基準データの値ごとに生成され、前記第1および第2のデータが対応付けられた変換テーブルに基づいて、前記第2のデータを、前記第1のデータに逆変換する逆変換ステップと

を備えることを特徴とするデータ処理方法。

【請求項 29】 第1のデータを変換して得られる第2のデータを、元の第1のデータに逆変換するデータ処理を、コンピュータに行わせるプログラムが記録されている記録媒体であって、

前記第2のデータを選択するとともに、その選択された第2のデータに対して所定の位置関係にある、既に逆変換された前記第1のデータを、基準データとして選択する選択ステップと、

前記基準データの値ごとに生成され、前記第1および第2のデータが対応付けられた変換テーブルに基づいて、前記第2のデータを、前記第1のデータに逆変換する逆変換ステップと を備えるプログラムが記録されている

ことを特徴とする記録媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0048

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0049

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0050

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0051

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0052

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0053

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0054

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0055

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0056

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0057

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0058

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0059

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手續補正 14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手續補正 15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0061

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手續補正 2 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手續補正 2 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 9 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 9 4

【補正方法】削除

【補正の内容】